九州の企業支援機関特集

日本の企業の大半は中小企業。大手企業に製品を供給するなど、日本の産業にはなくてはならない存在だ。そうした中小企業を陰で支えているのが、国や自治体、民間企業などが組織する支援機関。これら機関による技術や財務などのサポートは中小企業の成長、発展にとって重要な要因となる。そこで九州の代表的な支援機関の取り組みをトップ自らに語ってもらった。それぞれの特徴ある事業に触れ、支援を受ける際の参考になれば…。

福岡県中小企業振興センター専務理事
秋山 憲一郎 氏

福岡県中小企業振興センターは「経営革新計画」の承認を行っており、2012年10月末までの件数は184件となった。99年の承認開始以降、福岡県での累計承認件数は3745件で、これは全国3番目の多さだ。これまではより多くの企業の承認を得ることを目標としていたが、今後は中小企業診断士などの専門家派遣を中心に、承認された後のフォローアップに力を注ぎたい。

また県内企業の自動車産業への参入を促進するため、センター内に自動車産業参入支援室を設けており、九州内で操業する自動車メーカー各社から招いたアドバイザーが5人在籍している。現在約40社の指導先があり、現場改善など継続的な指導を行っている。地場企業は九州から近い韓国や中国など海外企業との競争もあり、より取引につながるような支援に力を入れていきたい。

地域に根ざしたセンターとして県内の企業をどれだけ知っているかを得意技としなければならない。企業も後継者への代替わりが進んでいるが、今まで築き上げてきた信頼関係を大切にしていく考えだ。

大分県信用組合理事長
吉野 一彦 氏

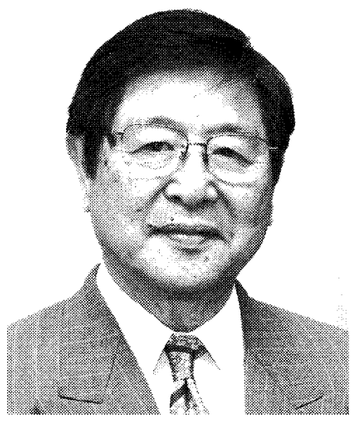
大分県信用組合は地場中小企業の経営基盤強化を目指して本店（大分市）に「中小企業支援センター」を設置し、これまで地場企業の経営革新や事業承継、農商工連携といった課題に対して、約300先の巡回相談対応を行いました。

同事業の推進は2010年度に経済産業省の委託事業「中小企業応援センター事業」および11年度は同省の「中小企業支援ネットワーク強化事業」に認定されたおかげです。

また12年度には事業者らを対象に「学びの場」を提供する「けんしん大学」を開講しました。事業者に対するサービス提供と職員のコンサルティング能力の向上を図り、地域密着型金融を推進するのが目的です。講義期間は1年間、年間20講座を無料で実施しています。講義内容は「創業・経営革新」「農業」などの5分野です。

12年11月には「中小企業経営力強化法」施行により、国から地場企業のコンサルティング能力を高める支援機関にも認定されました。今後とも地場企業を元気に、地域の活力を高める支援を加速させたいと考えています。

北九州産業学術推進機構理事長
國武 豊喜 氏

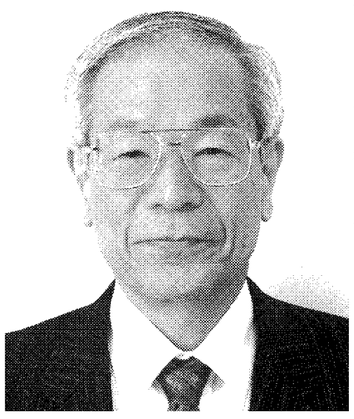


北九州学術研究都市（北九州市若松区）は、地域振興の頭脳となるべき知的基盤の整備や新産業の創出、地域産業の高度化、人材育成を目的として2001年に誕生しました。同研究都市とともに創設した北九州産業学術推進機構（同）は、産学連携の支援機関として、産と学の出合いの場の創出や産学協同による研究会の企画運営、研究開発への助成、研究成果の事業化支援などを行っています。

現在、発光ダイオード（LED）光源を用いた水質浄化システムや植物工場への応用などを目的とした「ひびきのLEDアプリケーション創出協議会」を設立。さらに血栓症予防ロボットの研究開発などを通じて北九州市内のモノづくり企業の医療・保健・介護分野への参入と技術の高度化を目指す「北九州医歯工連携研究会」なども設立し、新分野への参入を支援しています。

「環境未来都市」に選定された北九州市は、低炭素社会の実現や超高齢化社会への対応に向けて取り組んでいます。北九州学術研究都市は人材育成・研究開発拠点として大きな役割を担い、同市を支えています。

三次元半導体研究センター長
開 俊一 氏

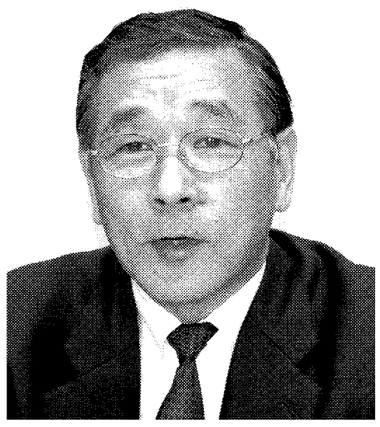


SiCMOSLSIの微細化技術が、2020年頃までには物理的限界に到達し、微細化限界を極限まで追求するMore Moore技術では、巨額の投資を必要とすることから、この技術領域で残るのは世界で数社と予測されています。日本のシステムLSIメーカは、ファブレス、ファブライト路線にかじを切っています。

今後のシステムLSI分野では、微細化に依存しない半導体の多様化技術によるイノベーションが強く求められています。この実現のため三次元半導体研究センターでは、11年4月のオープン以来、Si貫通ビアを用いたインターポーザー技術や異種機能チップ集積化技術を用いた三次元SiP技術、受動素子・能動素子を基板に内蔵した部品内蔵基板技術および実装評価技術等の研究開発を支援するとともに、成果技術の国際標準化を推進し、新たな半導体市場や高付加価値製品の創出を目指しています。

国内唯一の三次元実装に関する産学共同研究拠点として、県内外の中小、ベンチャー企業をはじめ多くの半導体関係企業、研究機関のご活用をお願い致します。

中小企業基盤整備機構 九州本部長
河上 高廣 氏



九州は地域資源が豊富だが、これらを生かした販路開拓が課題となっている。課題解決のために中小機構では、首都圏、近畿圏でのテストマーケティング活動の支援として、関東、近畿本部に約150人の販路開拓コーディネーターを置いている。市場開拓の主体はあくまで企業だが、市場投入までの筋道をつける支援をコーディネーターがお手伝いしている。

もう一つの課題が国際化への対応だ。2012年度には中国や東南アジア、欧米などの市場を探るFS（実現可能性調査）を行ってきた。全国で130件超、九州では11件を実施したが、来年度はこれ以上の規模で実施する計画だ。

九州はアジアに近いこともあり、以前から国際化には力を入れてきた。今年度は英語でのプレゼンテーションをするための研修を実施する予定にしている。一方で、私どもの事業内容が十分に伝わっていないことも事実だ。職員は単に事業を紹介するだけではなく、質の高い説明ができるように取り組んでいる。より現場に近い方々に伝えていくため、他の支援機関との連携も重要になる。

九州大学学術研究都市推進機構理事長
小田原 智一 氏

九州大学は福岡市内に分散するキャンパスを統合移転中であり、2019年度までに伊都キャンパス（福岡市西区、糸島市）に移転を完了させる予定です。

この統合移転を捉え、豊かな自然や景観と調和した「新たな学術研究都市の構築」を目指す「九州大学学術研究都市構想」が策定されました。これを実現するための組織として、04年度に九州大学や地元経済界、自治体により「九州大学学術研究都市推進機構（OPACK）」が発足しました。

OPACKは九大の最先端の研究シーズと企業との橋渡しを進める産学連携をはじめ、研究機関や企業の立地をサポートし、居住、交通、情報などの都市インフラの整備促進などさまざまな事業を展開しています。

すでに九大学研都市には産学連携施設や研究開発、産業化支援施設の立地が進んできています。さらなる知の融合による新たなテーマの創出や、社会や産業界が求める研究成果の応用、実用化を促進する次世代技術の実証支援など、アジアの核となる学研都市を目指して参ります。

大分県信用組合は、県内で頑張っている中小企業の応援をします!

◆中小企業支援ネットワーク強化事業ネットワークメンバー（九州経済産業局委託事業）

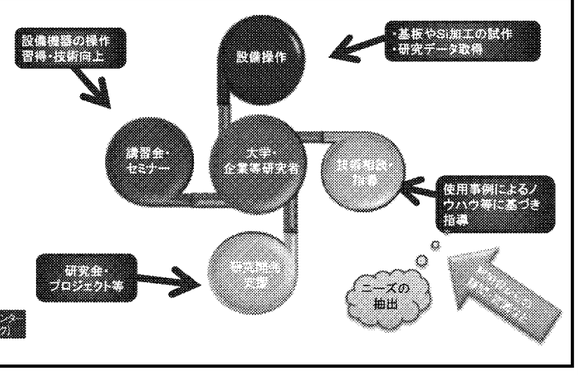
◆中小企業経営力強化法に定める経営革新等支援認定機関（九州第1号認定）

知識と人の輪を広げる
けんしん大学
創業・経営革新認定サポート
けんしん中小企業支援センター

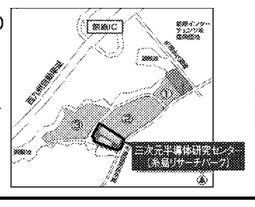
街へ 暮らしへ 気持ちいっぱい
大分県信用組合
お問合せ先
〒870-0047 大分県大分市中島西2丁目4番1号
TEL(097)-534-8577　FAX(097)-534-1823
HP：http://www.oita-kenshin.co.jp

国内唯一の三次元実装に関する産学共同研究拠点「三次元半導体研究センター」!!

三次元半導体研究センターでは、半導体素子をプリント配線板に内蔵する部品内蔵基板技術及びシリコン貫通ビアによる異種機能半導体チップ集積化技術を用いた三次元半導体の研究開発を行っています。また、成果技術の国際標準化を推進するとともに、中小・ベンチャー企業を支援するため、様々な施設・機器を提供しています。



【お問い合わせ先】
財団法人福岡県産業・科学技術振興財団(ふくおかIST)
三次元半導体研究センター
〒819-1122 福岡県糸島市東1963-4
TEL:092-331-8510　FAX:092-331-8515
E-mail:admin@jiss.ist.or.jp　URL:http://jiss.ist.or.jp
【車の場合】福岡空港から車で約35分、福岡都市高速・西九州自動車道利用、前原I.C下車すぐ
【バスの場合】博多駅（博多バスターミナル）から昭和バス「いと・しま号」利用、前原インター口下車後徒歩10分
【地下鉄・JRの場合】地下鉄空港線天神駅（姪浜・唐津方面）から筑前前原駅下車後、タクシーで10分



「知」と「技術」をつなぎ、創造する未来　北九州学術研究都市

北九州学術研究都市には北九州市立大学をはじめとした、1学部4大学院と17の研究機関、52の企業等が集積し、活発な研究開発や産学連携活動が進められています。
大学シーズを活用した起業も活発で、学研都市発ベンチャー企業が12社誕生するなど、「環境技術」と「情報技術」を中心に、大学の「知」が活用されています。
公益財団法人 北九州産業学術推進機構（FAIS）は、入居企業の支援や産学連携活動のお手伝いをいたします。

入居企業募集中!
●貸研究室月額　2,500円／㎡（共益費含む）
●研究開発助成金制度あり

公益財団法人 北九州産業学術推進機構（フェイス）（FAIS）総務企画部
〒808-0135 北九州市若松区ひびきの2番1号　産学連携センター1階
http://www.ksrp.or.jp/　E-mail:info@ksrp.or.jp
Tel.093-695-3111　Fax.093-695-3010

世界へ アジアへ 向けた頭脳拠点
九州大学学術研究都市へ

財団法人 九州大学学術研究都市推進機構
〒819-0375　福岡市西区徳永105-1MJR九大学研都市駅前1階
TEL 092-805-3677　FAX 092-805-3678
OPACK　九大学研都市等に関する情報はこちらへ　http://www.opack.jp

平成24年度
第2回中小企業経営革新セミナー　定員100名
日時　平成25年1月22日(火)15:00~17:30
会場　福岡県中小企業振興センタービル 大ホール(福岡市博多区吉塚本町9-15)

講演／大ホールA
「わが社における経営革新計画とその後の発展」(仮)
○第一施設工業株式会社
代表取締役 篠原 統氏

経営革新計画承認企業の事例発表
○株式会社アイル
代表取締役 樋口 康治氏
○株式会社九州電化
技術開発部長 中野 寛文氏
○株式会社ピュール
代表取締役 田中 和江氏

展示会／大ホールB、C
経営革新承認企業の製品・技術展示

セミナー終了後、交流会(有料)を行います。

お問い合わせ・お申し込み
財団法人福岡県中小企業振興センター　経営革新グループ
〒812-0046福岡県博多区吉塚本町9-15　TEL 092-622-5432　FAX 092-624-3300　HP http://www.joho-fukuoka.or.jp/

中小機構九州は、中小企業と地域の活性化を応援します!

海外展開をサポート
■海外ビジネスの専門家が無料でアドバイス
■海外展示会、国内での国際展示会出展をサポート

経営課題の解決をサポート
■専門家による無料相談及び派遣によるアドバイス
■実務支援を通じた経営力の向上をサポート

新事業展開・販路開拓をサポート
■地域資源の活用、農商工連携及び新連携の支援による新事業の創出を推進
■首都圏、近畿圏におけるテスト・マーケティング活動の支援や販路拡大のためのマッチングを実施

人材（人財）育成をサポート
■中小企業大学校（直方校・人吉校）での経営者、管理者、管理者候補等を対象とした実践的な研修の実施

お問い合わせ先
中小機構 九州
独立行政法人 中小企業基盤整備機構九州本部
〒812-0038 福岡市博多区祇園町4-2 サムティ博多祇園BLDG
TEL:092-263-1500　HP http://www.smrj.go.jp/kyushu/